

これからの学校メンタルヘルス教育セミナー 参加申込書

FAX
022-762-5853

または

メール
info@npo-switch.org

QR
コード



FAX用紙

件名に【セミナー申込】、
本文に【参加者名】【勤務先・所属先・役職名】
【連絡先（TELまたはE-mail）】【参加理由】
【懇親会参加の有無】を記入の上、送信してください。

参加者名	
勤務先・所属先・役職名	
連絡先 TELまたはE-mail	
参加理由 研修で学びたいこと	
懇親会参加	参加 ・ 不参加

懇親会の会場：仙台駅周辺（予定）／会費：4,000円程度（予定）詳細は当日ご案内いたします。

講師より皆様へ：若新 雄純氏（わかしん ゆうじゅん）



ぼくたちは、「喜怒哀楽」で生きています。喜んだり楽しんだりするだけでなく、怒ったり哀しんだりもしたいのが人間。そのためには、誰かとぶつかり、ねたみ、腹をたて、すれちがったりしなければなりません。ただ食べること、暮らすことはできるでしょう。その先になにをつくれば、「いきる」ことができるのか。ぼくたちはむずかしい問いをなげられています。現在、さまざまな現場でフィールドワークを行い、テレビ朝日「ワイド!スクランブル」などテレビ・ラジオ番組のコメンテーターとしての出演や講演をしています。著書に『創造的脱力〜かたい社会に変化をつくる、ゆるいコミュニケーション論』（光文社新書）など。

講師より皆様へ：山根 俊恵氏（やまね としえ）



我が国の「ひきこもり」は、約115万人と推計され、その長期化と高齢化が問題となっています。親も年老いていく中、「親子の共倒れの危機」に直面し、問題が顕在化してきています。全国に「ひきこもり地域支援センター」が設置されていますが、その支援体制は十分とは言えません。親は薬をもすがる思いでたどり着いても、その苦悩を理解されることなく話を聞いて終わりという対応のために長期化します。本セミナーでは、私が実践している「ひきこもり支援（相談・家族心理教育・アウトリーチ・居場所支援・就労支援）」とエビデンスについてお話します。家族支援は「家族関係の改善」です。氷のように閉ざした心に光を当てていく支援を一緒に考えましょう。

【みやぎこころのデザイン教育実行委員会 SCOPE について】

みやぎこころのデザイン教育実行委員会（SCOPE）は、2013年に有志で結成し、宮城県内の高等学校において「ストレスについて学ぶ」授業を実施し、以降、県内の小中高校、専門学校等の教育の場を中心にメンタルヘルスについて学ぶ授業を実施してきました。また、学校の教員等を対象としたセミナーも毎年開催しております。2017年度には熊本県の中学校で授業を実施する等、県内のみならず全国で、子どもたちにストレスやその対処法、精神疾患の知識等を伝える活動をしております。

【本セミナー開催に寄せて】

これまでSCOPEでは、子どもたちに、ストレスが一人では抱えられない程大くなる前にSOSを出してほしいというメッセージを伝えてきました。一方で、子どもたちがSOSを出したときに、大人がそれに気づき受け止め、子どもたちに寄り添う方法を考える機会も必要だと強く感じています。

もし、子どものSOSに気づいた時、あなたはどうかされますか？

励ますでしょうか。解決方法を教えてあげるとでしょうか。もしかしたら、慌ててしまい、あなた自身が苦しくなってしまうかもしれません。普段から、SOSに気づいた時にどう対応するかを学び準備しておくことで、より適切に子どもたちのSOSを受け止めることができます。子どもたちが安心してSOSを出せるよう、そして、大人が子どものSOSに気づいた時に慌てずに対応できるよう、この機会にともに考えてみませんか。